広報
こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行編集人　矢部藤三郎

昭和三十六年の元旦にあたり

町長　岡田六太郎

六年続きの豊作、三十五年は感謝を以て送り、光輝ある三十六年の新春を迎えますことは御同慶にたえません。

私首長として就任させて頂きましてから早くも二カ年の歳月は流れ行きまして第三年次、年頭を迎えるにあたり賢明にして良識ある町議会議員各位と、情熱的町民各位の御守護の賜なりと、厚く感謝申し上ぐる次第であります。

今、この感謝に対して過去の反省と明日への瞑想は実に決意を新にするものがあります。

皆様の御要望に応えて一応軌道に乗せなければ責任が立たないのであります。このような考えにたちます時、当三十六年こそ最も立派な町政をしき、町発展に精魂を打ち込む所存ではありますが何分にも町議各位の御支援と御協力によらねば、その目的達成は望むべくもありません。

申し上げるまでもなく当年度は特に中央に負債をもつ大きな継続的事業が本格化されて参りますので、これに伴う予算の獲得には断じて楽観は許されません。

私は専心町議会議員各位と共に自治体振興の三原則とも申すべき中央に結ぶ政治力の結集と、明析な頭脳と緻密な政治力の結合と、感情清算に立つ一致推進の三つの基盤にしっかり踏み立ちまして、初期の目的達成に邁進したい念願でありますなにとぞ各位におかせられましても、厚い御指導と御鞭撻にあずかりたく御願い申し上げます。

なお、私は当年度行政施策につき、その一端を申しのべまして御参考にしたいと存じます。

先ず第一に継続工事であります永久橋予算の獲得による早期架橋でありますが、ぜひ三十六年度竣工を目指して努力を払いたいと思います。

次に白根五泉線（中沢新聞店より角屋まで）と新潟・小須戸・三条線（二・三番町）の道路工事は何としても遂行しなければなりません。

次に継続工事の舗装はできる限り施工区間の延長を期したいのであります。

次に特殊改良工事でありますが、永久橋の竣工と相まって、必要に迫られる矢代田県道の舗装施工を思う時、ぜひとも工事を御願いしなければなりません。それと共に金津県道の大改修を今日から推進しなければならないと思っております。

又、農村振興計画として取り上げました有線放送は、何としても実を結ばせなければなりません

なお文教行政としては小須戸中学校々舎の増築であり、これは年次計画をもって落成しなければならないのであります。

厚生行政としては益々必要性を増してまいりました住宅の建設でありますが、もちろん本問題は町政発展の上からゆるがせにはできません。

その他地域的に色々な行政要望がありますのでこの際長年の懸案であります都市計画の立案をして、これを推進して行きたいと思います。

しかし何分にも限度のある財源でありますのでいかにして町の経済伸長を計り、住民の福祉第一主義を基本とする、行政本旨にそい抜くべきかを腐心している次第でありますので、町議会と一体となり、共にちえと才覚をしぼり合い、一面町民各位よりある程度の犠牲と全面的協力を頂きまして、三十六年度の行政成績をあげていきたいと念願する次第であります。

私はこの光輝ある、しかも多難な本年度において、いさゝか所信と皆様方への御要請を述べまして年頭の御挨拶といたします。

人よりは
自分で守れ
時間ときまり

新生活入選標語

ゆく年　くる年

今年は私の生まれた年である。毎年のことながら年頭に思うことは「今年こそゆったりした気持ちで過ごしたい」ということである。だがいつの間にか小さな〱からとじこもって動きがとれなくなってしまう。

今年こそ誕生しなおして、ちょっとでも前進したいと思う。

一日々々の積み重ねで私の与えられた生涯が終るのだから。　MA子

× × ×

一年が終るということは喜ぶべきか、悲しむべきか？

人によっていろ〱の答があろう。

でも、どんなにいやなこと、苦しいこと、切ないことがあったとしてもそれが「あった」という事実はごまかせない。

でも、やはりこの一年は自分の一生の中の一年だ。あったことはあったとして、これから後に十分生かそう。　OM生

× × ×

新しいということはよいものである。過ぎ去った一年を顧みるのもまた楽しく、未来を夢みることも更に楽しい。

たまの休みになると、うるさくつきまとう子供たちが、今日はひっそり集まって何かやっているそっとのぞいたら、畳の上にじかに画用紙をひろげてクレヨンでゴシ〱やっている。思わずどなりつけようとしたとたん「お父さん、ホラ紙芝居をつくってるんだよ」

「……。」

幼稚ではあるが夢の日が段々畑に表現されている。

「できたらお父さんにも見せたげるよ。」

説明をうつす者、次の絵をかいている者、部屋一ぱいにひろげられた絵本画用紙の中に立って、叱れない子供たちの一面を見た次第である。　KI生

× × ×

ポッンと場違いの処へとびこんだつもりで、のんきにふら〱していたつもりが、もう八カ月にもなってしまった。毎月原稿が集まったつもりで会合してみれば穴だらけあわてゝひねり出して、みんなあとはたのんだつもりで、これでできたつもり。

こんなことをくりかえしているうちに、少しは皆さんのお役に立つようになりますようにと願っているつもりである。

今年は私の年、大いにはりきるつもり。　KO生

× × ×

見たこともない仕事にとびこんでちょうど一年何も知らないことばかりであったが、今年は我が年であるので元気でありたいと思うが？だが牛がどこまで行くか。　TK生

（編集部）

わが世の春

〃丑年に因んで〃

私たちの中でも、もちろん男性と女性の区別はあるのですが、「うしは女の性」というように古くからみられています。

これは私たちが地味で目立たず、こつ〱と仂いて、多くのものゝ役に立ちながらも「縁の下の力持ち」的な存在で、報いが少ないことにつながっているからでしょう。

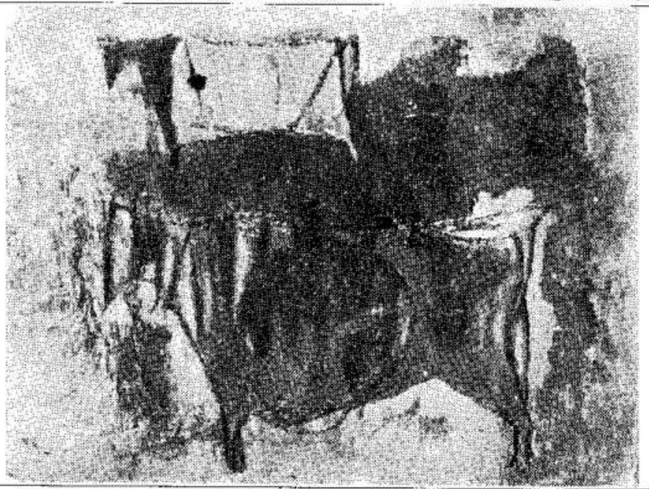
その為か、印度あたりでは古くから「牛は聖なるもの」としてあがめられているわけですが、こんな性質など二十世紀の今日では、ばかにされ勝ちです。

しかし「ばかは死ななきゃなおらない」自分は自分なりに歩いて行くつもりでいます。

〃牛歩遅々たり〃というとも「牛につれられて善光寺詣り」ということもあります。

言論はなやかなる世に重荷を背負いつゝ、黙々と歩み続ける私でさえ、たまには大きな叫び声を上げることもあります。

このたまにしか出さない叫びを、しっかりと受けとめてくれる人は、ないものでしょうか。



「うし」　画　小田哲

中蒲原郡青年研修会に参加して

三浦源三郎

毎年同じように青年団は曲り角に来たといわれ壁につきあたったともいわれ、年々会員が減少していくが、だが私達はそうした現状を当然だとか現在の農村機構からみれば自然的だなどと見す、私達の実績を郡内の青年と交換し話し合い、その原因を見いだし実践活動を高めようと、十二月十一日の両日、本町了専寺で郡連青研修会を開いたが参加者六十五名、その熱意と実のある話し合いは、これからの青年団活動に希望と一つの方向づけを与えた。

話し合いは

一、青年団と学習活動
二、これからの農村
三、社会活動と組織活動

の三分科会に別れ研修をやったが、三分科会を通していわれることは、我々の青年団活動が生活から離れすぎているということ。周囲の人達から理解されていないということ。団員が問題意識を持っていない、役員の青年団であったことなど。

確かに今までの青年団は集まるだけの、集まればよいという、何かしらそこにすじの通った目的がなかった。その為に楽しみだけの行事で青年団とし、昔からの行事活動に終り、別れゝばそこに残る何もない。

従来の形の青年団に、あまりにもとらわれ過ぎ団員が自分達でやりたいと思うことを、又一つの目的をみんなでなしとげられる仕組を作ることを忘れていた。たとえば我々は家庭生活、職場の生活、部落での生活、自分たちの将来に多くの不平不満がある。自分たちの住みにくい封建性はみんながそれを痛切に感じているのだが、青年特有の理論と合理性を持ってとびこんで行く勇気がないただあきらめと逃げることによる気休めに終っている。生活改善は、ます親父中心の家庭、家柄と経済的格差で上下がわけられている部落の封建性から解消しなければならないと話しているのだから、この問題を青年団でしぼり婦人会に仂きかけ部落に仂きかけるという理論と批判だけでなく、実際の行動と目的を達成する為の方法が、一番大切であることが話し合われた。

また農業問題にしても池田政府の農業人口六割削減論に話が集中したのだが、ただうわべだけの話し合いではなく、実際の家の経営、部落の共同作業構成、農業行政等生活を通して見なければならなく、その前にもう少し家と部落に積み立てきれている問題に苦しまなければならない。

それは我々の社会活動にも通じ、その目的は自分達の住んでいる部落の中、町の中を明かるくするということなのだ。

公明選挙運動、原水爆禁止運動などは客観的なものでなく、主観的物の考え方でこの問題に取り組まなければならなく、積極的に仂きかけなければならない。政治は常に我々の生活に繋がっている事が結論づけられた。

組織の問題にしても仲間意識を盛りあげ、今まで のような上から下への組織でなく、下から上に行く組織でなければならない。だが根本的な問題は組織いじりだけではだめで、団員の意欲がなければ浮き上がった活動になってしまう。今まで団活動の浮き沈みに指導者役員等の熱意、意欲の持ち方が一番影響されてくる。その団がよく行っているか悪いかは、その団の指導者を見ればわかるといっているが、指導者の育成なども真剣に考えなければならない問題である。上にあがる指導者でなく、そこに止まっている指導者を、連合青年団の活動などもその中心は単位団、部落青年会にあるのだろう。もっとその単位団の活動が充実する活動方針を立てなければならない。

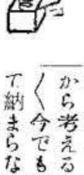
最後に青年団の役割は新しい動的社会における封建社会を民主的社会に進める原動力であるということ、また青年期における人格を作る（人の和助け合うという）為には青年団は大切なものであるということを、確認しあった。

囲碁将棋大会

とき　1月15日　午前9時より
　　　　　　　　午後4時まで
ところ　公民館
会費　50円
入賞　各五等まで

なぎさ

大人にもの申す



先日、帰りの汽車の中での一コマ。

矢代田駅へ近づいたので私は友達と話しながらデッキの所で待っていました。後にはずっと順序よく降りる人が続いています。汽車が着けばいつでもドアーを開けるのに私達の後にいた親父さん（四・五十才位）は人を押しのけてドアーを開けようとするのです。

一言「戸をあけてくれませんか。」と言えば済むことなのにと思いながらも「大人はとかく急ぎたがるから、寒いけど出ましょう」と二人で話しながら戸を開けてデッキへ出ました。それでも待ちきれず、その人は人をかき分けて前へ出ようとするので私はギューというほど前へ押されて、どうすることもできなく、ようやくもがきだすのですが、そのとたん頭の上で「何がうるさい！」という怒り声がしました。何気なく見ますと、なんとそれは私に対して言っている言葉でした。その人はすごく興奮しているらしく唇をピク〱させて怒っておりますが、一向にわけのわからぬ私はポカンとしていますと「うるさいとは何だ！」とまた怒るので当然のことながら「私は何も言いませんけど」と言ったのですがとたん世の中で最も憎むべき暴力を――それもあれだけの大衆のまん中でいきなり私の頭をたゝいたのです。私は生まれてこれまで親からもたゝかれるだけの理由なくしてたゝかれた覚えはないのに――。まして他人からたゝかれたことなどありません。これはほんの数秒間の出来事にすぎませんが、突然わけもわからず、どこかの親父さんにどなられ、大勢の目の前でたゝかれて今でも何でたゝかれたのかわからず、あっけにとられています。「何がうるさい！」ということばは、どこからきたのだろうか？

確かに私は順を待ってるのにグイ〱考えもなしに押す大人気ないその態度に、瞬間的に迷惑に思い、そんな人の顔をふりかえったけれど、それは私だけでなく、まわりの人みんながそうであったでしょう。その人々の中から私だけが貧乏くじを引いたと言ってかたづけるには、余りにあの代償は大き過ぎます。

そしてまたこの言葉を理由にして怒るのもどうかと思います。

誰もが早く家に帰りたいし、バスの中でも座りたいと思っている時、こんな態度をとるのはエチケットに反することだと自分に気付かないくらい人生経験が浅いのでしょうか？　きっとこの親父さんは悪いと気づき、この良心がとがめたが為に誰も言わなくても心の奥からほとばしり出たことばが自分にだけ聞えたのでありましょう。

そうでなければ私の友達との話しの中にも「うるさい」ということばはなかったはずです。

それにしても、あの場所にいあわせたがために何が因果か、とんでもない……。恥ずかしい目に会わされた者として、後から考えるとくやしくて〱今でも胸がむかついて納まらない心地です。

子供だからと、泣き寝入りする必要もなかろうとペンをとりました。何かすると「今の若い者は」「今の高校生は…」と軽々しく口走る世の大人達に対して思うのです。

朝夕のラッシュ時の改札口やバス、汽車への乗り降りをすさまじく争う醜い姿を見せるのは、若い者でも高校生でもない大人だ、ということです。

私の前の話しにしても高校生が、あたり構わず押し合いへし合いしたとかで、大人が注意したのならまだしも、大人が注意されるようなことをしていながら「うるさい」と聞えたからとて怒ったりげんこつをくれる態度は余りに利己的過ぎます。

十七才の少年が浅沼さんを刺したという一事件を、どうして新聞では大きく取り扱い、なぜ世間では大きく騒ぐ必要があるのでしょうか？。それよりももっと汚らしい行為が日常生活のあちこちで、長い人生を経た大人達によって行われているということに、なぜ目を注がないのでしょう？

このような人達のいる限り、この町の――ひいては日本の国の向上は見られないでしょう。それは若い人に立派な行動を望む資格が大人にないことになるからです。

こゝに述べた親父さんはもちろん、世の大人達に強く反省を望む一女高生です。（K子）

"魅力ある小須戸町に"

〜商工会、抱負を語る〜

最近の小須戸町商工全般の問題は新潟、長岡方面の大資本経営或はデパートの積極的宣伝戦、販路の拡張政策に圧迫されしかも農村の盛衰が直ちに大きく町経済に影響する、いわゆる大都市衛星町村の共通の悩みであります。

これら商店街の局面打開と求人難緩和対策等について、当町商工会では熱心に検討し、法に保護されている商工会運営に精進いたしております。

これらの問題については、経営学の権威者である新潟大学教授川崎進一先生のご厚意により十二月九日、ご多忙の中をわざわざご都合いただいて公民館、商工会共催で講演会を開催し、私どもと同じ運命にある他町村の実在の引例等により、たいへん解り易く、長時間話していただき又多数の聴講者も終始熱心にお話をメモされる等、非常に有意義な一夕を過ごすことのできましたことを喜んでおります。

（この件について加藤国一郎氏に一方ならぬご尽力ご配慮を煩わしましたことを感謝いたします）

なお、これに関連する大きな問題点であり、大都市に於てさえも悲鳴をあげておられる求人対策については、有志多数によりこの結成準備委員会を設け（委員長二番町かまくらや主人）労務管理の問題或は従業員の福利厚生施設等、他にそん色ないようにし、そして繁勢伸展にと努力されており、新津職安所長のご来駕をわずらわし、新津、五泉、燕、或は東京、関西方面の実情をご説明いただき、求人者一同認識を深め、活発なる会の運営を企画しつゝある現況であります。

商工会はこれらの問題の外、納税の問題については簿記講習或は青色申告会の強化に、金融面については産業予託金の増額請願等に、微力ながらていしんしておりますが今回は如上の案件の外、私どもの町が子供達に誇れる町と迄いわなくとも住み良い又よそからも来やすい、帰りやすい町に……ということから次の諸点をあげ、商工会員はもちろんPTAも通勤者の皆様も一丸となってご協力を願い、この実現促進方を町当局に請願することに致しました。

どうぞこの意のあるところをしんしゃく下され積極的にご援助をお願いするものであります。

㊀ 現在は鎌倉、大沢、天ヶ沢方面の方は小須戸へ来られるに矢代田で乗りかえねばならないバス路線でありますが、中学校生徒の為にも、これらの運行路線のご検討を願い早急に此の不便を除去していただきたい。

なお笠巻、鷲巻、大野、新潟の線も小合乗りかえの不便をなくしていただきたいこと。

㊁ バス路線と関連して汽車とバス運行時間の連絡を良くしていただきたいこと、及び現在のように乗降客数も非常に増加しており、しかも最近のご時世に私ども小須戸町民、通学生、通勤の方々も世間の人並みに快速列車を利用できるよう矢代田駅停車を実現させていただきたいこと。

㊂ 昔のくもの巣商法の時代はすぎ、蜜蜂商法の時代に、新津或は五泉に新潟、白根に電話を申込んでから一〜二時間も待たねばならず、これを急げば二〜三倍の料金を取られる不都合等を考え新津から新潟へ、新潟から新発田へ或は今町から見附、直江津から高田等待たずにお客さんに或は官庁、先方と通話できるよう、即時通話の実現を早急にお願いしたいことであります。

これらの問題から解決して、魅力ある住みよい小須戸にしていただきたいと思っております。

早晩このようになることとも知れませんが、良いことは一日も早く実現できるようご協力お願い致します。

新年にちなんで　吉田義人　撮

特異な産業の実態

案外知らない町民

——中学校の調査より——

先の商工会の話にあったように、たしかに最近はたいへんな求人難のようです。このことについては、商工会の方々も中学へ来られて、いろいろと懇談して行かれたのですが、実状は果してどうなのか、早速まとめていただいたのが次の表です。

◎中学卒業生就職動向

	県外	県内	町内	合計
33年度	43	33	(21)	97
34年度	60	21	(28)	109
35年度	48	24	(16)	88

今年度は昨年にくらべて約五十名卒業予定数が減っているので、全般に少なくなっていますが、それにしてもいかに町外に就職する生徒が多いかという事がわかります。

これは一面、大いに他町村に雄飛したいという希望の現われともみられすぐに困った事といえない面もありますが、しかし当町の求人数は常にこの人数を二・三倍は上まわっており、先の商工会の悩みもまた当然で、当町の発展からみてやはり困った問題です。

この点について更に中学の就職担当者（職業指導主事）に町の求人が多いのに、なぜ就職者が少ないのか、ということについて、くわしく聞いてみますと、生徒達には

一、何となく都会へのあこがれがある。

二、町内で知っている人に会ったりして働くのは恥ずかしい。

三、給与面で不利だ。

四、一生の職として勤めるには、まだまだ問題がありそうだ。

等の意見を言っているとのことでした。

ここで特に問題になるのは三と四ですが、給与の面は家から通うことを考えると必ずしも他へ出るのは少し位高くても有利とはいえないことが多いとも思えます。しかし美しいパンフレットで宣伝してくる大会社や商店街に対して、その内容を正しくつかむことはむずかしいことだとの話でした。

そして以上を通して痛感することは、もっともっとこの町の商工の実状を父兄も子供も知らねばならぬということだと思います。そこで商工会が力強く新発足したこの際、特異な産業や大きな販路を持っていながら、案外実態を知らぬ人も多いと思われる当町の産業を追って、しばらくの間、毎月紹介を続けてみたいと思います。

当町の更に大きな発展を願い、更に多くの卒業生がこの町にとどまることを願いつゝ……。

昭和三十五年度　五大ニュース

一、四・五番町舗装完成

天気が好ければ砂とほこりのまき上がる本町筋に、夢のようなアスファルト道路出現。自転車ってこんなに軽快なものか——。今年の夏には水まき車こゝだけは不要。

二、矢代田小プール完成

小須戸の町に二大プール揃う。永年の念願一気に達す。中学校の校舎増改築も目前に迫れり。

三、小須戸橋の工事開始

今しばらく仮橋にてご辛抱を…。寒中工事どんどんと進行すだが三年はかゝります。とゞくところは向う岸（念のため）

四、法による商工会発足

これでいよいよ大都市なみの機構設備？当町発展の推進力となることを——

五、街灯の設置

上に街灯下にアスファルト近代化両面から進むところで中間はどうなるのであろう。

次点、新保に柿の集果所完成

行先は北の果て北海道までのびる。しかして南はどこまでか——。

＝募　集＝

みんなで楽しい料理を

サンデークラブ

サンデークラブは集まった人たちで、主として料理を研究し実習している若い人たちのクラブです。

ご希望の方はどなたでも気がるに入れます。入りたい方は公民館へ連絡ください。

だいたい次のようなきまりになっています。

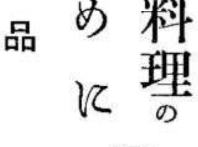
◎とき　毎月第二日曜午後七時より

◎ところ　公民館ホール

◎会費　金一〇〇円（これは材料費になります）

お正月料理のために

料理二品



どこの家にも手軽にできて、よろこばれるお正月料理として二つあげてみました。

一　ひき肉の卵巻き

材料

ひき肉二〇〇グラム　葱少々、しょうが少々、塩小さじ半杯、しょう油小さじ一杯、酒大さじ半杯　味の素少々、片栗粉、揚油

○作り方

(1) ボールに豚ひき肉、みじん葱、しょうが汁と調味料を加えてよくまぜ合わす。

(2) 卵は割ってほぐして塩を少々加える。

(3) フライパンに油をしきフライパンのふちまで充分に熱して油をあげ、卵を流し入れて大きい薄焼き卵を二枚作る。

(4) 片栗粉はこい水どきにしておく。

(5) まな板に薄焼卵をおき片栗粉を少量ふりかけその上に二等分した肉を一面に平らにぬりつけ、端からくりくりとまいて終りに片栗粉の水どきをぬりつけ、開かぬようにしてなゝめに六個くらいに切る。

(6) 鍋に揚油を熱して（一八〇度）卵まきを入れ色づく程度にあげて油をきる。

(7) 熱いうちにカラシじょう油で喰べる。（早く作っておいても喰べる前に揚げなおしができる）また卵まきをふきんに包んで、むし器でむしてもおいしいでしょう。これは暮れのうちに作っておいて、お客様のいらっしゃった時などにちょっと揚げなおすだけで、お酒のさかなにもなり大変よろこばれる。

○一人前　二〇円

○蛋白　九・三グラム

○熱量　一〇五カロリー

二　白菜とハムの卵あんかけ

材料

ハム二枚、白菜四〇〇グラム、油大さじ四杯、酒小さじ一杯、塩小さじ四分の一杯、スープ大さじ四杯。

卵あん

スープ、カップ一杯、塩小さじ四分の一杯、片栗粉大さじ二分の一杯、卵一コ。

○作り方

(1) 白菜はしんの白い部分をタテ六センチ、幅三センチに切る。

(2) 鍋に油を入れて熱し白菜をいためて酒、塩、スープを入れ白菜がやわらかくなるまで煮てから汁気をきっておく。

(3) 卵あんはスープ、カップ一を鍋に入れ、塩と片栗粉の水どきを加えてトロミをつけ、卵を割りほぐして穴じゃくしに入れてかき卵のようにして入れる。

(4) 器に白菜入れ卵あんをかけ、この上からハムのみじん切をちらす。

○一人前　約十二円

（サンデー・クラブ）

お正月のあそび三つ

らかんまわし

円くすわり、各自が初め自分でする身ぶりを決めます。すなわち

A　両手を耳に立てゝきつねのまね

B　犬のちんちんのまね

C　手をにぎり、二つ鼻先きに重ねて天狗のまね、等々思い思いの姿勢をとります。誰か一人音頭取りになり

「らかんさんが揃ったら回そうじゃないか、ヨイヤサノ　ヨイヤサ」と言ったら、とたんに右隣りの人の身ぶりをまねます。そして「ヨイヤサノヨイヤサ」とにぎやかにかけ声をかけながら、その度に次々とまねて行きます。

だんだんテンポを早めていくので、まごついたり、まちがえたら輪からはずしてゲームを続けます。最後に残った人が次の音頭をとり、身ぶりをかえてやりましょう。多人数ほど楽しくでき、旧いものですが正月向きに爆笑できる遊びでしょう

おだんご運び

二組に分れます。ハンパが出たら審判員になります。新聞紙半枚を八つ切り位にして、おだんごに丸めたものを一組に四個ずつ配分、それから長さ十二・三センチ位の少し太目のシャンとしたかんじよりを二本ずつキャプテンに渡します。

「用意…ドン」でかんじよりをはしにして次の人まで運びますが、もとよりころがしてはいけません。正しくはさんで高々と上げて運びます。こうして四個を次々に運びますが、途中ではしをへなへなにしたらその組が負けになります。

運ぶ長さは適当に工夫して下さい。多人数でははしの増配も必要かも知れません。簡単のようでも一度試みて下さい。腹のすくこと請合いです。

てんぐ合戦

画用紙を丸めて作った長さ十五センチ位のてんぐの鼻（根本の方を太くして鼻と唇でおさえられるようにする）を用意しお互いに自分の鼻にはめ下唇をのばしておさえ、相手の鼻と鼻を戦わせて早く相手の鼻を打ち落とした方が勝ちです。多勢の時は勝抜き戦でやっても見物人は大喜びです。

県大会に第三位

定高の井上さん

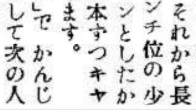
去る十二月四日の柿崎町で開かれた県下弁論大会で各地の雄弁家が多数集まった中で、当小須戸定時制高校四年生井上美佐さんは第三位に入賞、おしくも栄ある全国大会の出場権をにがしたが、今後の活動に大きな期待がかけられている。

日時　1月15日　午前10時

成　人　式

会場　小須戸中学校

一月　購入図書



◇釣りの事典	鈴木魚心
◇随行さん	源氏鶏太
◇殺きの石牢	南条範夫
◇潮みちるまで	大原富枝
◇家庭ゲーム百科	石川雅章
◇どんぐり帖	颯手達治
◇上方武士道	司馬遼太郎
◇渦	井上　靖
◇この日この時	高橋義孝
◇新しい暮らしの花づくり	浅山英一
◇エプロンおばさん	長谷川町子
◇サザエさん	仝
◇百円大工	原　稲生
◇河流	小泉信三
◇新樹	大仏次郎
◇どこかでなんかが	壺井　栄
◇ふうらい坊留学記	安川　実
◇宴のあと	三島由紀夫
◇風熄まず	有馬頼義
◇八幡鳩九郎	山手樹一郎
◇美しいからだ、美しくなる食べもの	共著　杉靖三郎　東畑朝子

極月俳句会

小須戸町俳句同好会

運命に素直に生きて障子張る　杏水
商売の寓話の中の雪便り　山葵
落葉して幹たち並ぶ桐林　水月
温床の緑に心支へおり　旺賚
冬の雨徒らに日の過ぎ易し　虚秋
着ぶくれていてあれこれと小仕事に　香月
庭くらし塀より庇・花八ッ手　渓灯
雷ひとつ里にも雪の近づけり　一陽
レース編む夜長に光る娘の指輪　竜朗
とり崩す橋脚洗う冬の川　流水

おくやみ

自十一月一日　至十二月二十日

ウデコキ	大橋和子
土提伴吉	堀　正男
ウデコキ	丸山サク
朝日町	関川二三
〃	長谷川正平
矢代田	岡田福造
〃	田沢　正
五番町	笠井マキ
新保	藤田周治
矢代田	中山亀次

第14回

町民芸能祭

とき　1月22日午前9時半より

ところ　小須戸小学校